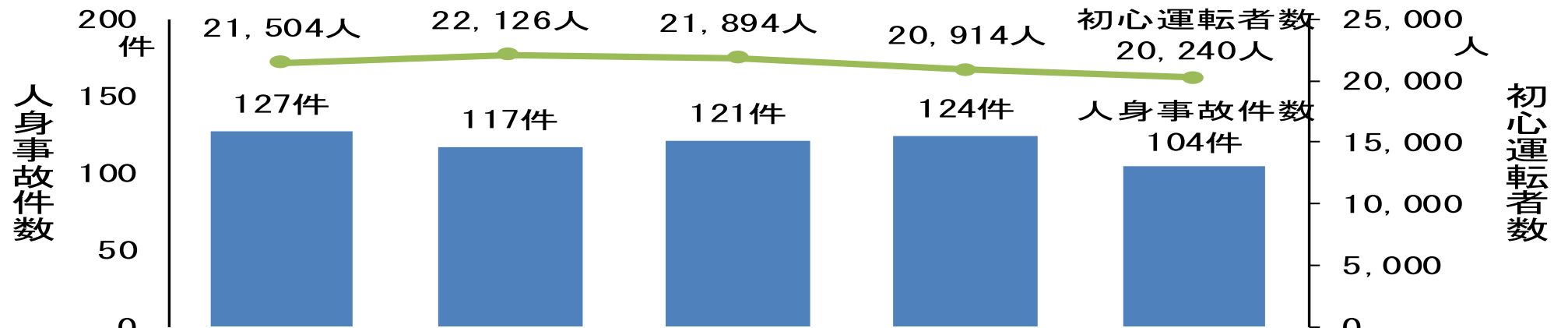


初心運転者（準中型・普通・軽自動車）の起こした交通事故 （5年間・令和元年～令和5年）



《 最近5年間の交通事故発生状況 》



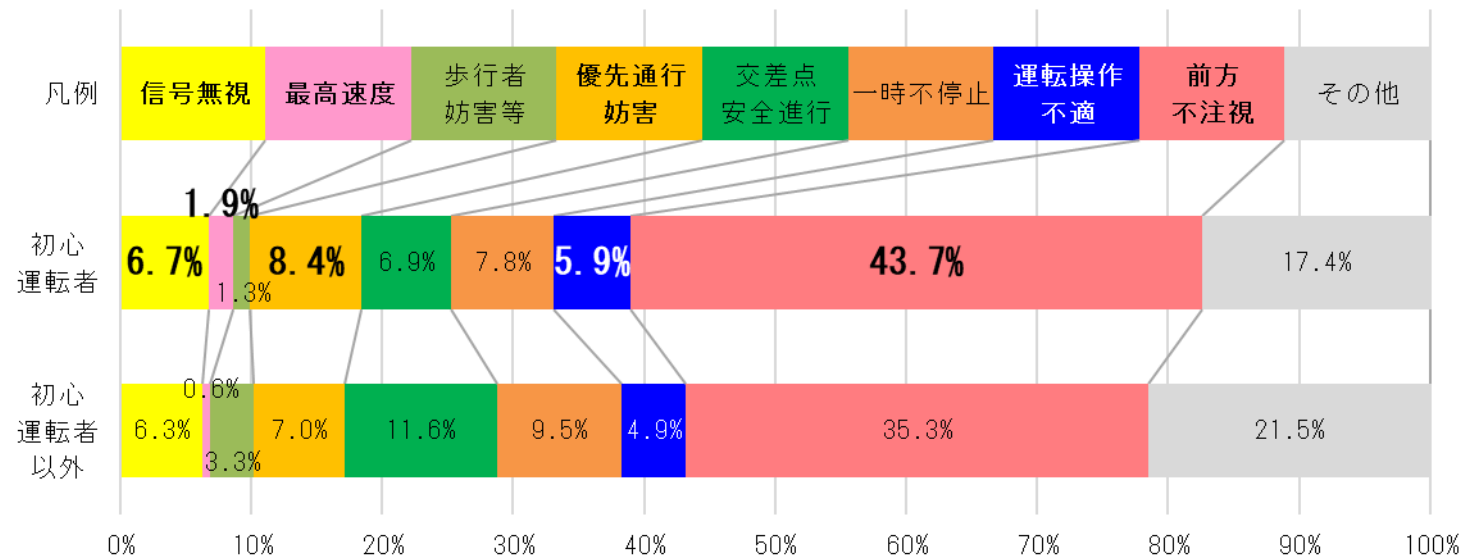
区 分	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	5年平均
初心運転者事故件数	127件	117件	121件	124件	104件	118.6
全運転者事故に占める率	3.2%	4.0%	4.3%	4.4%	3.5%	3.9%
免許保有者1万人当たりの事故件数	59.1	52.9	55.3	59.3	51.4	55.6
初心運転者数	21,504人	22,126人	21,894人	20,914人	20,240人	21,335.6
全免許保有者に占める率	1.5%	1.6%	1.6%	1.5%	1.5%	1.5%
全運転者事故件数	3,952	2,913	2,794	2,790	2,946	3,079.0
全免許保有者数	1,409,363	1,403,493	1,398,675	1,393,921	1,390,319	1,399,154.2
免許保有者1万人当たりの事故件数	28.0	20.8	20.0	20.0	21.2	22.0

注1：運転者数は各年12月末現在。（県データによる）
 注2：初心運転者数については、準中型免許・普通免許合格者数を示す。
 注3：初心運転者・全運転者事故率とは、免許保有者あたりの事故件数をいう。

初心運転者は事故率が高い！

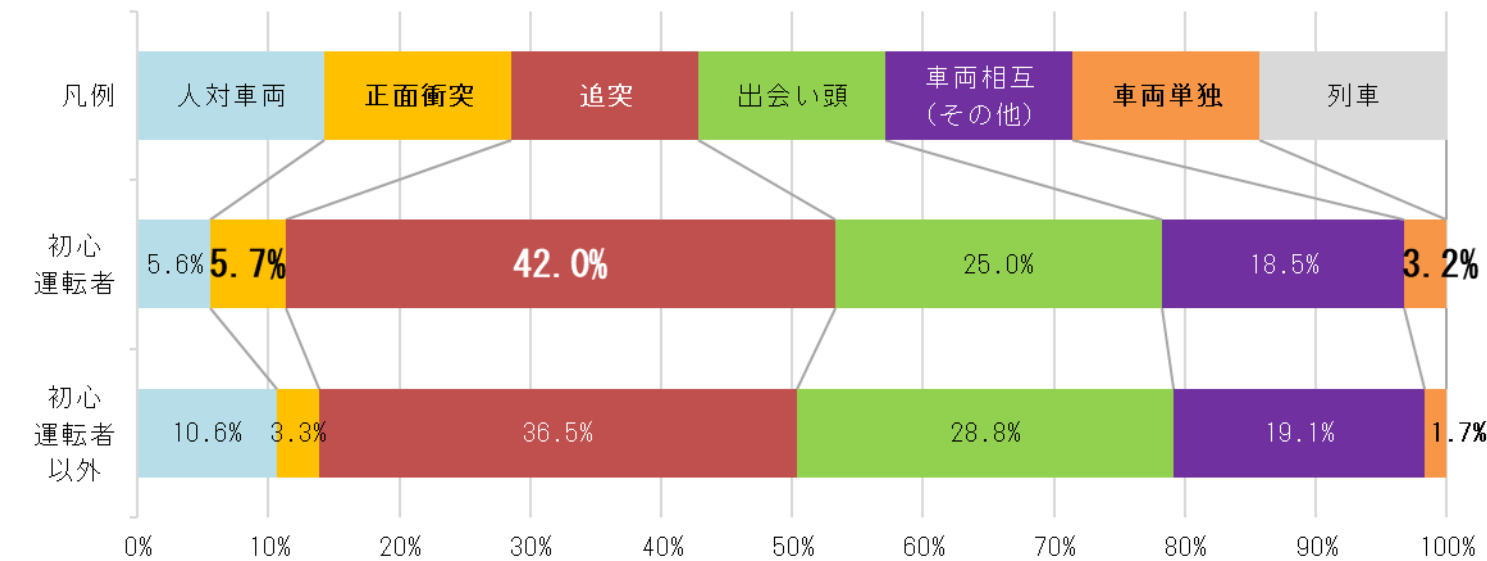
令和5年中の初心運転者及び初心運転者による交通事故は前年より減少したものの、過去5年間の平均を見ると、全免許保有者に占める初心運転者の割合は1.5%であるのに対し、**初心運転者による交通事故は全運転者事故の3.9%と高く、さらに免許保有者1万人当たりの事故件数は55.6件で、全免許保有者（22.0件）の倍以上となっている。**

《 事故原因別 》



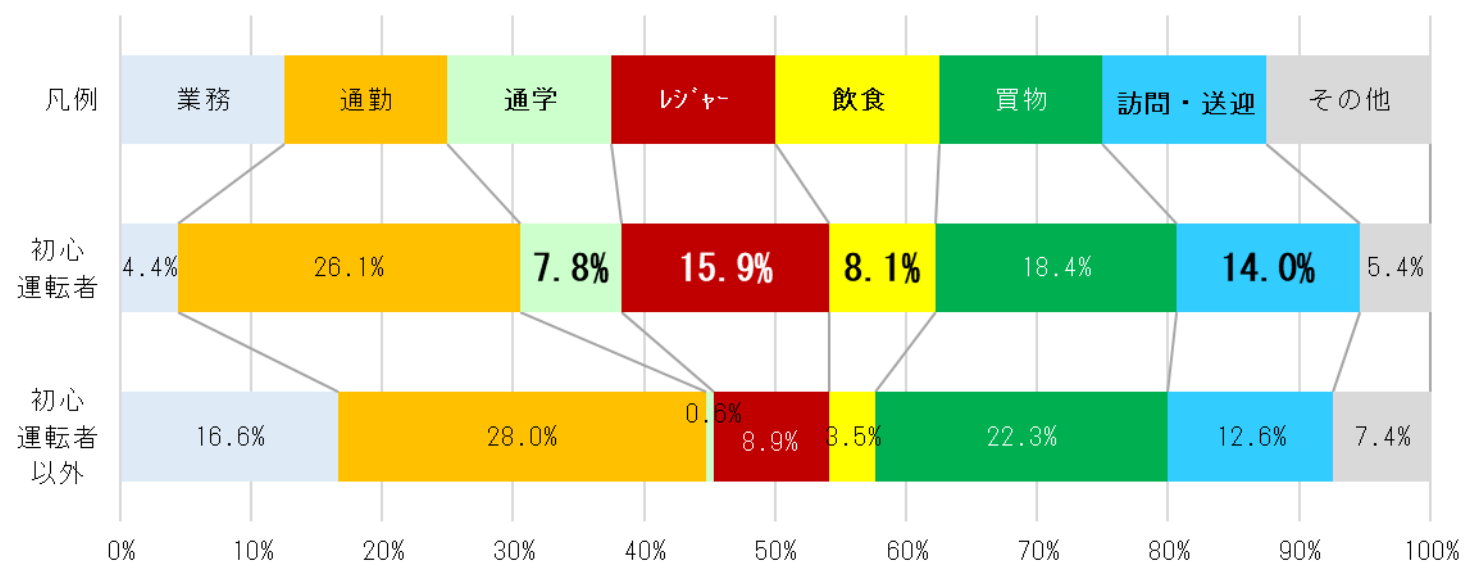
前方不注視による事故が多いほか、信号無視、最高速度、優先通行妨害、運転操作不適での事故率が高い。

《 事故類型別 》



速度の出し過ぎや運転未熟による対向車線にはみ出しての正面衝突や単独事故のほか、前方不注視等による追突事故が多い。

《 通行目的別 》



通勤事故が多いほか、レジャーや飲食、友人宅への訪問・送迎時の事故が多く、初心運転者は年齢が若いこともあり、通学時の事故率が高い。